

総合計画における将来像の他都市事例

参考資料 3

○裾野市及び裾野市周辺都市

将来像		
自治体	見出し	内容
裾野市	みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市	世代間の調和がとれたまち、産業と地域の調和がとれたまちの実現により、「住んで良かった」「これからもずっと暮らしていきたい」と感じることができる「すその」を形づくりま。
三島市	せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～	「せせらぎと緑」本市の魅力であり象徴である湧水のせせらぎと豊かな緑などの恵まれた自然が生かされた街を目指すという意味が込められています。 「元気あふれる」にぎわいと活力があり、若さと元気にあふれ、市民の笑顔が絶えない街を目指すという意味が込められています。 「協働のまち」市民、NPO、事業者と行政との「協働」に、若い人たちの柔軟な発想や情熱、行動が加わり、新たな共同の取り組みが市民生活の向上に生かされたまちを目指すという意味が込められています。 「環境と食を大切に」良好な環境を将来の世代に継承するとともに、命の源であり、人が生きていくために欠かすことができない「食」を大切にすることで、市民が健全な心と体を培い、豊かな人間性を育てていくという意味が込められています、
御殿場市	緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場」	世界の宝である富士山が与えてくれる豊かな自然を保全・活用し、誰もが生きがいと誇りを持って暮らすことのできるまちづくりを進め、本市の魅力に引かれ、人々が集うまちを将来都市像として表します。
長泉町	自然と都市の共生 人とまちの健康創出 いきいき長泉	長泉町には、愛鷹山麓の緑や桃沢川の清流等に代表される豊かな自然環境が残るとともに、交通利便等を生かして展開される産業集積や居住等の多彩な都市機能が展開され、魅力と活力ある町の形成が図られてきました。この豊かな自然環境と多彩な都市機能を合わせ持つ町の特性を生かしながら、ここに暮らす誰もが、真の幸せと豊かさを感じるまちを目指します。人々が幸せと豊かさを実感するのに最も基本的で重要なのが、住民一人ひとりが健康であるということです。そして、一人ひとりが健康であるためには、それを支え、影響を与えるまち（地域社会）の様々な要素、都市環境やコミュニティ等についても、合わせて良好である、すなわち健康である必要があります。人々が健康であるとは、明るく元気よく、いきいきとしていること、あるいはそうあろうとすることです。また、まちが健康であるとは、安全で潤いのある都市環境や安心感のあるコミュニティが、人々の暮らしをしっかりと支えていることです。このように、人もまちも健康であることが、この町で暮らす幸せと豊かさの源泉です。そして、この健康な人やまちがもたらす喜びを、みんなで分かちあい、ふれあうことで、地域や町全体の活気や賑わいを高めることにもなり、さらに、この町に暮らす誇りや町の愛着へと結びついていくものです。
富士市	富士山のふもと しあわせを実感できるまち ふじ	霊峰富士はまさに日本のシンボルであり、その雄姿はかけがえない私たちの財産、ふるさとの誇りとして全ての市民が心のよりどころとしています。 この雄大な富士山のもとで、市民、企業、行政の連携と協働により、自然環境の保全と産業の振興を両立させながら、安全で快適なまちづくりを進め、だれもが長く住み続けたいと思う魅力に満ちた都市を構築するため、「富士山のふもと しあわせを実感できるまち ふじ」を本市のめざす都市像とし、諸施策の展開を図ります。
箱根町	やすらぎとおもてなしのあふれる町ー箱根	本町では、箱根町自治基本条例に定める自治の基本理念に基づき、長期的な将来像を描く総合計画を策定し、総合的かつ計画的な行政運営を図っています。第6次総合計画は、平成28年度末で第5次総合計画の計画期間が満了を迎えるため、平成26年度から約3年間をかけて策定作業を進め、平成29年3月に策定しました。この第6次総合計画に基づき、行財政改革の着実な推進により財政状況の改善を図りながらも、限られた資源の中で町が直面する課題への対応に積極的に取り組み、ひいては設定した将来像「やすらぎとおもてなしのあふれる町ー箱根」の実現を目指します。

○その他都市

将来像		
自治体	見出し	内容
平塚市	ひと まち 自然 生活快適都市 ひらつか	市民と市が手を携え、想像力を発揮し、地域力。市民力を生かした持続可能な、平塚の新しいまちづくりを進めていきます。
狭山市	緑と健康で豊かな文化都市	伝統と文化を大切にしながら、新しい狭山の創造を目指し、次の基本理念に基づき、市民、市民団体、事業者、行政が連携・協働して、情熱を持って次世代につながる元気なまちづくりに取り組みます。
座間市	ともに織りなす 活力と個性 き らめくまち	「ともにおりなす」：「人から人へ」公助、自助が共助へ広がり、多様な地域コミュニティが活発化しm地域の連携が強いまちであることを表現しています。「活力と個性」：文化、健康づくりmスポーツなど様々なことに市民が生き生きとチャレンジし、都市基盤整備を背景として産業活動が活発な街であることを表現しています。「きらめく」：いつでも何かを期待でき、新しいものが生まれるまちを追求し、座間らしさを想像し湯とする姿勢を表現しています。
八千代市	快適な生活環境とやすらぎに満ち た都市 八千代	都市と自然のバランスに優れたまちとしての特性を活かし、市民のだれもが誇りと愛着を持って暮らすことができるやすらぎに満ちたまちを想像していくため。
鶴ヶ島市	鶴ヶ島は 元気にする ～明日に つながる活力のまち 支えあう安 心のまち～	整備された居住空間。身近に残る自然。すぐれた交通の利便性。鶴ヶ島は人が住むのに とても適しています。この鶴ヶ島を、今まで以上に活力に満ちた安心で住みやすいまちにしていきます。 <鶴ヶ島は“人を”元気にする> <鶴ヶ島は“暮らしを”元気にする> <鶴ヶ島は“地域を”元気にする> . . . そんな元気あふれるまちを目指します。 ○市の特性を活かしながら、地域に働く場所を確保するとともに、人々が集い憩い交流 する地域の魅力を創っていきます。そこから生まれる活力が、鶴ヶ島の元気を明日につなげていきます。 ○市内の地域ごとに、それぞれの状況に応じた支えあいの仕組みを築いていきます。この支えあう地域の力が、安心のまちをつくり、鶴ヶ島の元気を確かなものとしてい きます。
遠野市	永遠の日本のふるさと遠野	「永遠の日本のふるさと遠野」は、自然と共生しながら、人々が健やかに輝き、活力にあふれ、ふるさとの文化を育み、市民一人ひとりの郷土への誇りと愛着と熱意によって、みんなで築くふる さとです。悠久の時を越えて継承してきた遠野らしさを生かし育むとともに、その魅力を積極的に発信する ことにより、「永遠の日本のふるさと遠野」を創造します
伊達市	自然を育み 未来に向かって挑戦 する 人にやさしいまち	噴火湾に面した伊達地域は、「北の湘南」と称される温暖な気候と肥 ひ 沃 よく な大地を形成 し、また豊かな森林に包まれた大滝地区は、みどり温泉に恵まれて「癒 いや しの里」と称 されています。明治3年にこの地に移住した先人は、苦難に満ちた開拓に夢を持って立ち向かい、子弟の教育に情熱を注ぎ、常に未来に向かって果敢な挑戦を繰り返してきました。このことを改めて見つめ直し、伊達市の将来像を次のように定めます。
豊田市	つながる つくる 暮らし楽しむ まち・とよた	～人と人、人と地域、自然とのつながりを深め、認め合い、生かし合う中で、多様な価値や可能性をつくりだし、暮らしを楽しむことができるまちをめざします～
鹿島市	みんなが住みやすく、暮らしやす いまち	これまで育んできた「豊かな自然や風土」「伝統や文化」「ものづくりの力」「地域コミュニティの輪」などの「鹿島らしさ」を活かしながら、みんなが安心して“働き” 暮らし “育て” “学び” “楽しみ”、生涯を豊かに暮らしていけるようなまちづくりに取り組みます。
浜松市	市民協働で築く『未来へかがやく 創造都市・浜松』	私たちは、世界に誇る技術と文化を有 する都市を受け継ぎました。県庁所在 地でもなく、大都市近郊でもない1つの‘まち’が、ものづくりを中心に自 立的な発展を遂げ、政令指定都市へと 移行できたのは、先人の高い創造性と たゆみない努力、何事にも果敢に挑戦 する市民意識のたまものです。私たちは、このすばらしい都市と精神 を次代に引き継ぐため、長期的な展望 に立って、課題を認識した上で、希望に 満ちた未来を創造します。
射水市	豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る きららか射水（いみず）	射水市は、コンパクトな市域に、港湾、工業地、商業地、高等教育機関など、様々な機能を持つ魅力ある資源が集積し、さらに「海、川、野、そして、里山」という豊かな自然を有しています。 こうした地理的特性を生かしながら、すべての市民にとって住みやすく、安心して生活できるまちづくりを進めます。 さらには、活力に満ち、将来を担う子どもたちをはじめ、市民誰もが笑顔にあふれ、夢と希望に満ち、そして、いきいきと輝く「射水市」を創造します。
川口市	人としごとが輝くしなやかでたく ましい都市 川口	本市は「鑄物のまち」として全国に名を馳せてきました。鑄物には美観だけでなく「造形の自由 度（しなやかさ）」「強靱で堅牢である（たくま し さ）」等の優れた特質があります。また、同じく 本市の特産である植木をはじめとする緑も「（し なやかでたくましい）生命力」の象徴といえます。将来都市像で示した「しなやかさ」と「たくま し さ」は、本市に受け継がれた伝統技術を意識し つつ、時代の変化や多様化する市民ニーズに柔軟 に対応するしなやかさを持ち、困難な課題にも市 民と行政が一体となって力強くたくましく臨んでいくまちづくりへの想いを込めたものです。本市は、子どもから大人まで全ての「人」と、魅力あふれる市内産業などの「しごと」が輝くこ とのできる、しなやかでたくましい都市をめざします。
袋井市	活力と創造で 未来を先取る 日 本一健康文化都市	私たち袋井市民は、心身ともに健康で豊かに暮らすための「心と体の 健康」、良好な住環境の形成や産業を活性化するための「都市と自然の健康」、市 民や地域の力を未来の発展につなげる「地域と社会の健康」の3つの健康の柱を 充実させることで、常に時代の一步先を行く“日本一健康文化都市”の実現のため、 第2次袋井市総合計画におけるまちの将来像を次のとおり掲げます。

将来像		
自治体	見出し	内容
越前市	国府の文化と匠の技、日野の山川に生まれ ひとづくり、ものづくり、まちづくりの活力みなぎる 元気な自立都市 越前	わたしたちの越前市は、国府の文化と匠の技を受け継ぎつつ、日野の峰と流れのもとに誇りあるふるさとをつくり育ててきたまちです。培われてきたモノづくりの伝統を、人と地域の財産（たから）として将来ともに守り伝え、伝統産業や先端技術産業を振興し、持続的に発展し続けるまちとします。子どもから高齢者まで誰もが、いつまでも、安心していきいきと暮らしていける住みよいまちづくりに努めます。輝かしい歴史と伝統、文化を礎に、未来に向けて市民がそれぞれの夢を自ら見つけ、実現に取り組めるまちを目指します。東西に広がる豊かな里地里山を守り、自然との共生を図りながら、誰もが住みたい、住み続けたいと願う快適なまちであり続けます。住んでいる人、訪れた人が本市の元気を実感できる自立したまちづくりを市民とともに進めることとし、将来像を次のように定めます。
五泉市	ずっと五泉。～次の一步を、ともに未来へ～	市民の誰もが安全・安心な環境で、潤いと安らぎを感じながら「ずっと」幸せにくらし続けることができるまちをめざすとともに、市民と一体となってさらなる歩みを進め、より良い未来に向かってまちづくりに取り組んでいく姿勢を表しています。
甲州市	豊かな自然歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち甲州市	本市は、豊かな自然に包まれ、果樹園風景が広がり、果樹を中心とした農業が展開されています。さらに数多くの歴史資産と地域文化を有しています。こうした本市の特性を活かすため、基本視点である「甲州市ブランドを創造し、誇りうるまちづくり」「、だれもが住んでみたい、住んでよかったと思えるまちづくり」「、市民との協働による、自立したまちづくり」を踏まえ、本市の魅力が輝き、多くの人々が訪れ、住んでみたくなる、またすべての市民がずっと住み続けたくなるまちの実現を目指し、将来像を以下のとおり定めます。
長野市	幸せ実感都市「ながの」～“オールながの”で未来を創造しよう～	人口減少社会、成熟社会が到来した現在、序論で整理したように本市が有する強みを活用しながら、抱える課題を可能性に変え「長野市らしい魅力ある」まちとして、歩み続けていくことが必要となっています。価値観が多様化し行政課題が複雑化していますが、住民の福祉の増進を図るとともに、本市の多様な構成※や成り立ち・特性を踏まえた地域づくりを進め、市全体の「幸せ」の総和の拡大を目指していくことを「幸せ実感都市」と表しています。また、副題として市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感できるよう、全市を挙げてまちづくりに取り組むことを「“オールながの”で未来を創造しよう」と表現しています。
熊本市	～市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたいまち、「上質な生活都市」～	豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれているまち。市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたいまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。
那須塩原市	人と自然がふれあうやすらぎのまち 那須塩原	本市には、広大な那須野ヶ原に生まれた緑と那珂川、箒川の清らかな流れに代表される美しく豊かな自然があります。わたしたち市民一人ひとり、このあふれる緑や自然を大切にしながら、安心して暮らすことができ、夢や希望をもって「やすらぎ」を感じるができるまちを目指すために、那須塩原市の将来像を「人と自然がふれあうやすらぎのまち 那須塩原」とします。
西宮市	未来を拓 ひらく 文教住宅都市・西宮 ～ 憩い、学び、つながりのある美しいまち～	私たちが大切にしている西宮の豊かな暮らしは、人々の憧れを集め、私たちをいつまでも住み続けたい気持ちにさせてくれます。「文教住宅都市」としてのまちの価値は一段と高まり、未来の世代へと着実に引き継がれていきます。
北見市	ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市 -未来を拓く活力創造都市 北見-	北の大地に光を求め、荒野を切り拓いた先人の開拓精神を受け継ぎ、市民一人ひとりがきらめき、自然と共生し、活力と創造のあるまちをめざします。
上越市	すこやかなまち ～人と地域が輝く上越～	○「すこやかなまち」とは、市民の皆さんが「すこやかな暮らし」を送ることができる理想的なまちの姿を包括的なイメージで表現したものです。○これからの市政運営では、このまちで暮らす市民一人ひとりが「すこやかな暮らし」を実現できる条件を整えていくことを基本的な役割と認識し、各政策分野において、それぞれの「すこやかなまち」のイメージを目標として、必要な取組を推進していきます。
美馬市	四国のまほろば 美馬市 誰もが住みたくなるまちをめざして	先人が培ってきた歴史・文化を継承しながら、市民の定住意識や地域への愛着を大切に、本市に住むことが誇りとなるようなまちづくり、多くの人々が訪れ交流できるまち、すべての市民の基本的な権利が保障され、それぞれのライフステージにおいて常に元気に活動できるまちを創造するため、本市の将来像を次のように設定します。
津市	笑顔があふれ 幸せに暮らせる県都 津市 ～夢や希望、明るい未来が広がるまちへ	本市がめざすべき望ましいまちの姿とは、市民がそれぞれの幸せを実感し、心豊かで笑顔あふれる人生を送ることができるまちです。そのためには、子どもたちの明るい未来が展望でき、若者が夢や希望を持ち、市民の幸せな暮らしが広がり、そして市民の暮らしを支える力強い地域経済があるまちでなければなりません。この理想とするまちを市民の皆様と共に必ずや実現するという想いを込め、将来像としました。
大野市	ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち	ひかりかがやき人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などは大野市が全国に誇るることができる魅力です。魅力のある素材のすべてが磨かれています。たくましく 大おおのびと 野人は、純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と雪国特有の粘り強さを併せ持っています。大野人の良さを保ち続けるとともに、大野の魅力を発揮する人と産業がたくましく育っています。心ふれあう 子どもから高齢者まで、人と人との触れ合いや共に語り合うことを大切に、互いに学び、働き、憩うことで、心が満ちてゆとりがあります。人情味があふれるもてなしの心で、訪れてくれる人とも交流が深まっています。
本宮市	『笑顔』あふれる『人』と『地域』が輝くまち もとみや	◇『笑顔』は、市民の幸せや喜びを表します。『人』は、本宮市に暮らす市民一人ひとりを、『地域』は、市民が暮らしている身近なコミュニティや豊かな自然に囲まれた空間など一定の生活圏を表します。◇第2次総合計画では、この3つをキーワードとし、「本宮市に住む人々や訪れる人々の『笑顔』があふれ、『人』や『地域』がいきいきと輝いている。」そのような都市（まち）の姿を目指します。
泉大津市	住めば誰もが輝くまち 泉大津 ～なんでも近いで ええとこやで～	3つの基本理念を踏まえ、市民一人ひとりが、自分たちの住むまちに誇りを持ち、快適で機能性の高い都市環境の中で、安全に安心して健やかに暮らしていくことのできるまちをめざし、まちの将来像を設定します。
日田市	ともにつくる一人ひとりが主役のひた	「人と自然が共生し、やすらぎ・活気・笑顔に満ちた交流都市」を将来都市像として定めた第5次日田市総合計画が目標年度の平成28（2016）年度を迎えることから、次期計画となる第6次日田市総合計画を策定しました。第6次日田市総合計画は、これまでの総合計画と同様に市政運営の基本事項としての計画であるとともに、市民と行政が理念を共有し、協働してまちづくりを進めるための指針として策定しています。